

## 化工品事業 [ニッタ化工品株式会社]

ニッタグループの1つの柱、1メーカーとして、「ものづくり」をお客様に届け続ける。

ニッタ化工品株式会社  
代表取締役 社長  
ふじた やすのり  
藤田 泰徳



### 主なSDGs目標



### 2021年度のセグメント業績



## 2021年度の振り返り

2020年度に引き続きCOVID-19の影響により、観光バスや鉄道関連製品等の需要減が大きく響いた1年となりました。但し、2020年途中から譲渡されたトラック・バス用空気ばね事業により売上高は対前年で6.2億円増となりました。また、鉄道車両用のゴム製品は欧州の新規物件の立ち上げや補修部品の獲得で前年を上回りました。エラストマー製品はOA機器用部品が堅調に推移した一方、エラストマー原液は低調となりました。引布樹脂製品は、欧州向けのガスメーター用計量膜の販売が増加した一方で国内は減少しました。道路資材は外構分野向けおよび一般道路向けの受注低調、樹脂ホースは汎用品の減少を、衛生車両用製品やダクトで取り戻す等、多角的な販売強化でマイナス面のカバーを目指したものの全体としては目標未達となりました。

### SWOT分析

<p><b>競争優位性</b></p> <p>特定の業界や分野に特化した豊富な製品ラインナップを取り揃えている。</p>	<p><b>弱み・課題</b></p> <p>主力の販売分野が限定的なために、特定の業界や分野の需要が落ち込んだ際には、マイナスが分散せずに大きな影響が出やすい面がある。</p>
<p><b>機会</b></p> <p>COVID-19の影響からいち早く回復しつつある欧州へのアプローチとして、ニッタグループの海外拠点ネットワークを活用した展開が可能。</p>	<p><b>脅威</b></p> <p>グローバル展開を目指す中、今後より一層の品質強化に加えて、価格競争力やスピード力、物量への対応力等さらなる強化が求められる。</p>

### 2030年へ向けた事業戦略概要

- 1. 製・販・技・品の一体運営**  
各工場を拠点とした事業グループ制導入による製・販・技・品が一体となった運営体制により、「責任・権限」を明確化し、より戦略的な活動を加速化。
- 2. 品質レベルの向上と体制構築・強化**  
顧客満足度向上を目指し、コスト競争力と品質レベル向上を強化。「TQM活動」をはじめ「自工程完結」を意識した行動により事業部全体の体質改善を目指します。
- 3. NITTAグループ行動憲章を業務活動の基本としたコンプライアンスの推進**  
コンプライアンス遵守活動の継続および内部統制推進体制の構築により、CSR活動の更なる推進と強化に取り組みます。

## 主力製品



生コン打設用ゴムホース

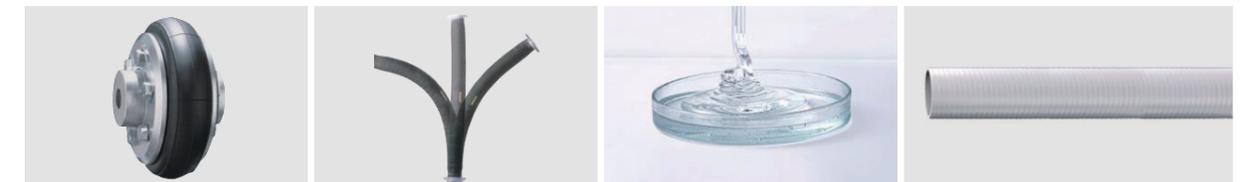
鉄道車両用空気ばね

## 既存分野での新製品開発と 既存製品の他分野への横展開を推進

新しい生活様式や仕事の進め方等社会が大きく変革する中、アフターコロナにおける事業活動を根本から見直すことが急務です。特に化工品は特定分野や特定製品に頼ったものが多く、業界の変化により事業全体が影響を受けやすい面があります。

既存製品だけでなく、既存分野においても製品ラインナップの拡充や集中特化、また既存製品を他の分野や市場へと拡販する等、製品の「深化」と新市場の「探索」に注力することが重要です。そこで戦略製品とし

て「タイヤ型ゴム製軸継手を製鉄・製紙会社、ポンプメーカーへ」「セラミックホースを粉体圧送装置メーカーへ」「ウレタンエラストマー原液をウレタン成型メーカーへ」「難燃タイプケーブル保護管を各発電所向けへ」という4つのカテゴリで既存分野での新製品化および既存製品の他分野横展開を進めて参ります。各製品のラインナップを取り揃え、また基本製品からのカスタマイズ受注等、カタログ販売等で効率的に営業が仕掛けられる取り組みを推進しています。



タイヤ型ゴム製軸継手

セラミックホース

ウレタンエラストマー原液

難燃タイプケーブル保護管

### TOPICS

#### 中長期経営計画「SHIFT2030」達成に向けた事業戦略

信頼されるものづくりを通じて、お客様の安心感と満足度を高め続ける。

#### 【今後の成長戦略】

事業体制を「分野別」から「製品群別」にSHIFTすることで、いち早く事業課題を明確にし、的確な対策を迅速に実施することで、中長期経営計画の「3つのSHIFT」を推進します。

- 「成長へのSHIFT」として、拾いきれないニーズを捉まえ、既存製品を深化させるとともに新市場へと転換することで拡販を目指します。
- 「企業価値向上へのSHIFT」として、TQM活動や国際認証取得等を通して品質レベル向上と体制の構築・強化するとともに、自工程完結活動やコスト低減活動等による会社の体質改善・強化と顧客満足度向上を追求します。
- 「更なるグローバル化へのSHIFT」として、海外売上比率が低い化工品事業において、ニッタグループの総合力を活かした事業活動により、大きなポテンシャルを持つ海外市場へ積極的に挑みます。

#### 2022年度の事業部目標数値

